

はじめに

ネパールに 笑顔 届けよう



はじめに

今年の夏も多くの方々や機関、団体のご支援、ご協力により日本ツアー2019を無事に完遂いたしました。改めまして、皆様に感謝申し上げます。第4回目となる日本ツアー2019は学生の選抜方法、開催場所、資金調達等々、一新して企画してまいりました。準備から当日までの活動記録を報告書にまとめましたのでどうぞご覧ください。

ネパールに笑顔をお届けようプロジェクト

「ネパールに笑顔をお届けよう」は2013年にネパールを訪れた京都の大学生3人が設立した、ネパール学習支援のためのプロジェクトです。現在は日本全国に学生、社会人を含め20名以上のメンバーが所属しています。

現在までにネパール現地と日本で教育資材と教育機会の提供を中心に活動してきました。

《教育資材の提供》

- ・文房具、美術教育資材の寄付
- ・パソコンおよび周辺機器の寄付
- ・学校施設にソーラーパネルの設置



2013年初期メンバーネパール渡航

《教育機会の提供》

- ・ネパール現地での日本文化クラス
- ・ネパールと日本の学生による絵の交換企画
- ・ネパールと日本の学生による英語での手紙の交換企画
- ・ネパール現地でのスピーチコンテスト開催
- ・ネパールと日本両国でのホームステイ企画
- ・ネパールボランティアツアー
- ・日本スタディツアー

ネパールについて

- ・正式名称はネパール民主連邦共和国
- ・インドと中国チベット自治区に国境を接した南アジアの内陸国
- ・100以上の民族からなる多民族国家
- ・公用語はネパール語、学校教育は英語を使用
- ・世界最高峰のエベレストなど8つの8000m峰を持つ
- ・国民一人当たりGDPは1,034ドル
(2019年 CEIC Date)



8000m 峰アンナプルナ

日本ツアー

日本ツアーの背景と目的

プロジェクト設立から数年間、文房具やコンピューター等の教育資材の支援を中心に活動してきました。しかし、ネパールの慢性的な貧困や教育問題を改善するためにはネパールの社会を発展させる人材の必要性を感じました。ネパールには美しい文化や伝統があります。しかし、日本もそうであるように慣習にとらわれた変わらなくてはならない部分も存在します。

ネパールが発展していくためには自国の持つ良い部分と新しいアイデアや技術を組み合わせることが必要だと私たちは考えます。ネパールの中高生にとって自分の住む地域の外に行くこと、ましてや海外に行くことは容易なことではありません。10代という若い時期に、実際に海外に行き、異なる文化や風習、人々と直に触れ合うことは、既存の価値観や視野に大きな刺激を与えます。そして彼らは新しいアイデアを得るでしょう。

このツアーの目的は参加者に日本で新しいアイデアを与え、自国ネパールの社会的、経済的發展に寄与する人材として教育することです。100人、1000人の発展に寄与する1人を育てるプログラムなのです。

「日本はなぜ発展したのか。そして、ネパールはどう発展していくのか」を今年のツアーテーマに決めました。戦後、日本が急速に発展していった背景と過程、そして成熟した現在の日本が抱えている様々な問題を学び、これからネパールが発展するうえで必要なことと、教訓として得ておくべきことを学び、学生ひとり一人が自ら「ネパールはどう発展していくのか」の答えを探すツアーを企画していきました。

日本ツアー2019 概要

ネパール現地で英語でのスピーチコンテストを開催し来日する学生の選抜を行います。今年(2月)は昨年まで開催していた中学生対象のコンテストに加え、高校生の部を初開催しました。中学生の部から1名(Smriti)、高校生の部から2名(Aashma、Sudha)が選ばれ、引率者として現地コーディネーター2名(Keshav、Rambabu)が2019年9月7日(土)~14日(土)の7日間、社会、教育、文化を小テーマに掲げ東京と茨城を訪れました。



左から Keshav(ケシャヴ)、Smriti(スミリティ)、Sudha(スダ)、Aashma(アシュマ)、Rambabu(ランバブ)

クラウドファンディング

日本ツアー2019を開催するにあたり、クラウドファンディングで企画資金調達に挑戦いたしました。多くの方々のご支援、ご協力により目標金額を超えて達成することができました。重ねて感謝申し上げます。

企画名：ネパールの未来を創る

日本スタディツアーを開催！

挑戦期間：43日間(5/16~6/28)

達成金額：966,000円

目標金額：920,000円

達成率：105%

支援者数：115名

スケジュール

日にち	場所	午前	午後	夜		
9月6日	金		出国	経由		
9月7日	土	東京	入国(HND)、休憩	代々木公園(都市公園)	オリエンテーション	
9月8日	日	東京	江戸東京博物館(歴史・文化)	浅草で浴衣体験	東京タワー	
9月9日	月	東京	豊洲市場(市場見学)	姉妹結縁式	ホームステイ	
9月10日	火	東京	Aashma	高畑勲展	油絵画家 國府田姫菜さん訪問	中学校訪問準備
			Sudha	総合病院訪問	聖フランシスコ子供寮 (児童養護施設)	
			Rambabu	NPO東京ダルク (覚醒剤等更生施設)	牛込保健センター	
			Smriti Keshav			
9月11日	水	東京→茨城	移動、稲敷市立桜川中学校訪問、銚子電鉄	犬吠埼		
9月12日	木	茨城→東京	茨城県公立中学校訪問、移動	国会見学、買い物	交流会準備	
9月13日	金	東京	渋谷清掃活動	交流会準備	協力者交流会	
9月14日	土	東京	買い物	リフレクション	クロージング、帰国(HND)	

9月7日(土) 1日目



朝7時に羽田空港に到着。宿泊地、オリンピックセンターにチェックイン。午後は代々木公園で都市公園の役割を学んだ後はゲームを交えてのオリエンテーション！

9月8日(日) 2日目



全身で Japan! Tokyo!を感じる1日。江戸東京博物館では江戸～東京の歴史と文化に興味津々。午後は浅草で浴衣と着物体験。浅草寺ではネパールと同じ仏教の神様を発見。そして1日の終わりは東京タワーから見える眩しい首都の夜景に驚愕。

9月9日(月) 3日目



昨日の台風の影響で東京の鉄道は運転見合わせばかり。やっと動いた電車に乗り満員電車を体験。市場の役割を学びに豊洲市場へ。



午後からは新しい家族と出会う兄弟姉妹結縁式とホームステイ。家、食事、習慣をリアルな日本家庭の中で体験。新しい家族との決して忘れることのないひと晩。

スケジュール

9月10日(火) 4日目



Aashma の夢は多くの人に良い影響を与えるアーティスト。最も興味のある絵を学ぶため、高畑勲展へ。午後は若き油絵アーティスト國府田姫菜さんを訪問。絵だけでなく自分のためにギャラリーを開催してくれた姫菜さんの思いに Aashma は涙を流し感動。



Sudha の夢は医者になり児童養護施設のサポートをすること。総合病院を訪問し日本の医療制度と医療現場を見学。午後は児童養護施設で日本の現状や取り組みを学び、最後は子どもたちと触れ合った。



Smriti の夢はソーシャルワーカー。麻薬や覚せい剤の更生施設では国民性から来る使用薬物の傾向や更生方法を学ぶ。保健センターでは多国籍住民を抱える新宿区のきめ細かいサービスに驚愕。母子手帳をもらい「ネパールでもこれを広めて下さい」と激励をいただいた。

9月11日(水) 5日目



東京から茨城へ。公立中学校を訪問し、設備や習慣まで全て教育に繋がっていることに感心。給食を一緒に食べた1年生との交流授業ではあっという間に打ち解けて英語でコミュニケーション。忘れられない思い出となった。



銚子電鉄から見える景色は東京とは全く違う。日本にも畑があり、ビルがないネパールと似た景色があることを知った。そして内陸国ネパールにはない海へ。大人も子どもももびしょぬれになりながら夢中で水遊び。

9月12日(木) 6日目



今年の春に日本とネパールの学生同士での英語の手紙交換企画を行っていた中学校へ訪問。英語でお互いの学校紹介やダンスパフォーマンス、福笑いゲーム、再度となる手紙の交換など短い時間ながら充実した時間を過ごした。

スケジュール



午後は東京へ戻り国会見学へ。中高生には少々難しい内容であったが、「後になって分かる事がある。」と引率者の Keshav さん。

9月13日(金) 7日目



午前中は第1回目の日本ツアーから実施している渋谷清掃活動。道徳心や社会貢献活動の意義など学生たちは清掃すること以上の学びを持ち帰る。



そして、午後はボランティアスタッフと協力者交流会の準備。感謝を込めて、時間をかけて準備した交流会には全国から約40名の関係者、協力者を招待し、ツアーの報告や学生たちによるスピーチとダンスパフォーマンス、そしてネパール料理を振舞った。

9月14日(土) 8日目 最終日



午前中は渋谷でショッピング。ドンキの店前の大きな水槽の魚に目を輝かせる。



午後は日本ツアーを振り返りリフレクション。学生たち、引率者、日本人メンバーもツアーでの学びを共有し、そして別れを惜しみ涙を流した。



そして羽田空港へ。空港にある日本橋で最後の記念撮影。別れを惜しみ、もう一度、涙でお互いに感謝を伝え帰国。翌日の昼、無事にネパールに到着。

参加者の感想



ネパール学生 Aashma Dangol(17)

日本ツアーはこれまでの私に人生の中で最も重要な経験になりました。多くのことを学び、私の視野は広がりました。ツアー中、些細なことにも関心を持って質問し、日本のマナーや伝統、近代化した過程、文化の保存について、そして、開発に伴う様々な社会問題や日本特有の自然災害の現状とその対策について学びました。特に日本の都市公園は遊ぶためだけにあるのではなく地震等の災害時の避難地としても存在していることに驚き感心しました。日本は複雑に交通機関や建造物が存在し、人口も多く、多忙な生活をしていますが、政府と国民はあらゆる点で綿密に計画し最善を尽くしていました。私自身とコミュニティを高めるためにその考え方を自国に持ち帰りたいと思います。



ネパール学生 Sudha Prajapati(17)

兄弟姉妹結縁式で出会った
怜子さんは私の最愛のお姉さんになりました。ホストファミリーはとても愛情深く、私の話に耳を傾けてくれて、まるでネパールの自分の家にいるように感じました。

また夢プランの日には総合病院と児童養護施設に訪問しました。たった一日で新しいこと沢山学び、その日は私の人生で最も素晴らしい日でした。茨城では犬吠埼に行き、海の新鮮さと雰囲気興奮し、私の人生で最もクレイジーな瞬間でした。

私たちの人生で最高の日々を一緒に送ってくれた皆さんに心から感謝します。そして、今度は皆さんにネパールで会えることを願っています。



ネパール学生 Smriti Bandhari(15)

私は日本の発展について沢山のことを学びました。日本の道路と鉄道の発展が日本人の生活をとても快適にしている様子を見て、ネパールの人々の生活を改善するために科学技術、インフラ等様々な分野でできるだけ早く開発する必要性を感じました。また、日本人はいつも素早く勤勉で、その姿から一分一秒の価値を教わりました。日本が発展したその一因に時間への価値観があるのだと思います。

帰国後は学んだ経験や知識、アイデアを自分のコミュニティや友達に共有することでこのツアーを私だけのものではなくより多くの方のためのツアーにしたいです。そのために自国の開発の必要性について啓蒙活動を行ったり、清掃活動を勧めるパンフレットを作成し拡散するなど具体的な行動をしていきます。



日本人メンバー 岡田 怜子(25)

Sudha が私の新しい妹としてホームステイに来ました。結縁式の直前までは参加者のひとりだと感じていましたが、式とホームステイを通してSudha が特別な存在になりました。うまく言葉では言い表せませんが家族に対しては思うような感覚なのかもしれません。丸1日にも満たない、本当にあっという間の時間でしたが貴重な経験をさせていただきました。

この期間、彼女たちは肉体的にはへとへとだったと思います。それでも意思をもって、将来の夢に希望を抱いてツアーに参加している彼女たちの姿勢は素晴らしかったです。私の方がパワーをもらいました。改めてこのツアーの企画に参加できたことを誇らしく思います。ありがとうございました。

最後に



今年も日本ツアーを大きな事故なく終えることができました。今回は開催にあたりクラウドファンディングに挑戦し、多くの方々にご協力いただき目標を達成することができました。プログラムメンバーである大学生や社会人は成果が上がらない時期もありましたが、諦めずに挑戦し戦い続けることができました。私たちのプロジェクトはネパールの学生のためだけではなく日本人の学生、若者の社会貢献プログラムでもあります。クラウドファンディングはプロジェクトメンバーにとって社会に向けて自らの意思を伝える、責任を持って実行すること、等大きな学びと成長の期間となりました。皆様のご支援、ご協力によりネパール、日本両国学生、若者が教育の機会を得て成長することが出来ました。重ねて感謝申し上げます。

第4回目の日本ツアーを迎え、ツアー自体の質を高めることができていると感じています。1週間という短い滞在期間を中高生の目線に合った学び方やツアー自体にストーリーを持たせ学生たちの頭と心に残る方法が年々明確になってきています。また、今回は茨城の2つの公立中学校に訪問し、生徒たちとの交流授業を行いました。ネパールの学生、そして日本の中学生にとっても同年代の外国人との出会いと交流は大きな学びと刺激になりました。英語しか通じない相手に対して僅かな英語とボディランゲージ、表情でコミュニケーションをしたということは英語学習への意識向上と異文化理解に繋がったことでしょう。日本ツアーがネパールと日本両国の学生、関わるの方々にとって学び多き期間となっていることを感じます。

日本ツアーは来年以降も続いていきます。ネパールの未来を拓く学生と、様々な社会問題の解決のために考え、行動する日本の若者を一人でも多く輩出できるよう活動してまいります。これからもネパールに笑顔を届けようプロジェクトをよろしく願いいたします。

ネパールに笑顔を届けようプロジェクト 代表 三浦佳恵

会計報告

項目	収入 (ツアー期間中のレート換算)	支出
クラウドファンディング獲得資金 ※手数料を除いた金額	¥804,000	
同行者Rambabuさん参加費589ドル ※Rambabuさんは自費で参加 ※航空券は自身で購入	¥62,355	
学生3名参加150ドル(50ドル/人) ※ツアー中に土産代5000円として返金	¥15,880	
航空券代(4人分)		¥273,912
国内移動費 (5人分+レンタカー+ガソリン+高速)		¥98,466
宿泊代(5人分+スタッフ)		¥130,466
食費(5人分)		¥99,272
体験費・入場料(5人分)		¥30,678
海外旅行保険(5人分)		¥23,050
協力者交流会		¥50,240
印刷・備品・Wifi・下見・雑費		¥119,373
収支合計	¥882,235	¥825,457

スポンサー・サポーター

WiLL 株式会社

クラウドファンディングサポーター

ご協力いただいた皆様

小田静さん(資料デザイン)

國府田姫菜さん(油絵画家)

菊地珠奈さん(ホストファミリー・通訳)

室伏情花さん(ホストファミリー・通訳)

岡田怜子さん(ホストファミリー)

原庸之さん(ホストファミリー)

和田敏敬さん(通訳)

青木操生さん(通訳)

NPO 東京ダルク

牛込保健センター

一心病院

聖フランシスコ子供寮

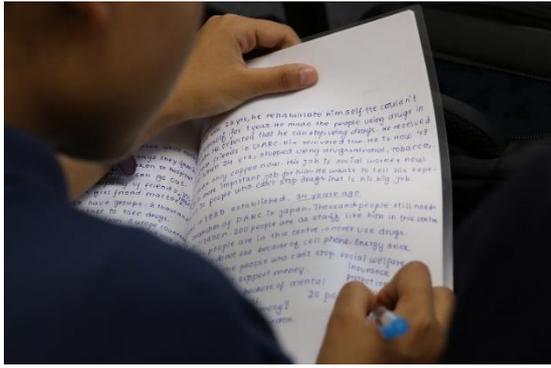
稲敷市立桜川中学校

J-HOPE

Japan Tour2019 Photo



Japan Tour2019 Photo



ネパールに笑顔を届けようプロジェクト Smiles for Nepal

E-mail smilesfornepal2013@gmail.com

ホームページ <http://smiles-for-nepal.com/>

Facebook <http://www.facebook.com/nepal.egao>